令和8年度　地域連携推進会議議事録

開催案内年月日	令和 8 年 10 月 26 日
開催年月日	令和 8 年 11 月 16 日(月)9 時 55 分～11 時 00 分終了
開催場所	社会福祉法人つくし園作業棟
構成員出席者	岡田頼明　山本啓介　福原美佐子　佐田国信子　美濃弘明
欠席構成員	なし
事務局出席者	有吉理事長　磯部施設長　　中野事務長　藤井支援課長

開会(9 時 55 分)

○開会あいさつ（施設長）

○理事長あいさつ

・施設訪問の際に食事を提供
・地域連携推進会議はつくし園の運営やサービスの透明性をご理解いただく場
・施設訪問や本日の説明の中で忌憚ない意見を

○自己紹介

・つくし園利用者　岡田頼明
・つくし園利用者の保護者　山本啓介
・米光地区の民生委員　福原美佐子
・特別養護老人ホーム福寿荘施設長　佐田国信子
・周南市障害者支援課保健師　美濃弘明
・社会福祉法人つくし園理事長　有吉富男
・つくし園施設長　磯部良治
・つくし園事務長　中野孝明
・つくし園支援課長　藤井一彦

○地域連携推進会議の概要説明

・「地域連携推進会議」の開催及び会議の構成員の事業所見学を令和 7 年度から義務付け
・地域連携推進会議の目的：①利用者と地域との関係づくり、②地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進、③サービスの透明性・質の確保、④利用者の権利擁護
・施設による会議の開催及び構成員による施設訪問
・地域連携推進会議の構成員：利用者、利用者家族、地域の関係者、福祉に知見のある人、経営に知見のある人、施設所在地の障害福祉の市担当者で構成、人数として 5 名程度（利用者、利用者家族、地域の関係者は、必ず選出)。
・構成員の役割：会議への出席・施設訪問による情報共有、施設等の環境や利用者・職員の様子の確認、利用者や職員とのつながり

【質問・意見】

・特になし

○社会福祉法人つくし園の説明

・1966 年（昭和 41 年）「手をつなぐ親の会作業所つくし園」を開設

・1972 年（昭和 47 年）「社会福祉法人つくし園」の設立認可、定員 20 名で旧馬神小学校に「通所更生施設つくし園」を開園
・1974 年（昭和 49 年）知的障害者入所更生施設事業を開始
・1991 年（平成 3 年）現在地に移転、現在定員 50 名で障害者支援施設の運営と短期入所サービス、相談支援センターでの特定相談事業を実施
・現在、理事長は 6 代目で有吉富男、職員は、施設長、副施設長、事務長、支援員 33 名、看護師 2 名、管理栄養士 1 名、調理員 7 名、事務員 2 名、支援補助員 1 名、合計 50 名の体制で運営
・入所者は、男性 25 名、女性 20 名の 45 名、年齢は 10 代から 80 代までの方まで
・理事は、理事長、施設長の他、社会福祉事業の経営に見識を有する方や地域の福祉関係者として 4 名の理事
・評議員は地域の代表者や地域の福祉関係者、利用者の家族代表の方、7 名
・敷地面積は、5,352.59 ㎡、建物面積は 1,946.68 ㎡
・施設は、女子寮と男子寮に分かれており、女子寮は女子の支援員、男子寮は男子の支援員が利用者の生活支援
・1 日の流れ：6 時半に起床、22 時消灯、週 4 回の入浴を実施
・節句行事や七夕行事、クリスマス会、フェスタ等、年間を通じて行事を実施
・利用者の活動は、月に 1 回の外部講師による体操教室や健康体操を実施し、職員による絵画教室や折り紙教室、ミュージッククラブなども実施。随時、個別外出支援やドライブ、一泊旅行、日帰り旅行などを行う
・令和 8 年度事業計画を説明
・令和 3 年度から令和 7 年度までの決算概要を説明

【質問・意見】

・キラリンピックとは

→県内の障害者の方のオリンピックのような行事で、つくし園ではフライングディスク競技に 5 名の利用者の方が参加。輪っかの的に入れる競技で 4 名、投げる距離を競う競技で 1 名がメダルを獲得。

・歯科医師による口腔ケア月 4 回実施とあるのは

→月 4 回歯医者さんがつくし園に来られて、口内の衛生状況をチェックしていただき、歯のブラッシングや必要に応じて歯石除去や虫歯治療などを実施。利用者の方は基本的に全員受診。

・訪問した際に利用者の方の絵画を見せていただいたが、作品はたくさんあるのか

→活動として、絵画教室を実施し、利用者の皆さんに描いてもらっている。社団法人七福という法人につくし園の利用者二人がデザイナー登録をしている。また、永源山公園内の美術館で毎年作品を展示、児玉アートフェスティバルや室積アートで作品を展示、利用者の作品を利用した服やネクタイなども作られている。児玉アートフェスティバルでは、市長賞などを受賞。七福の取組みは最近始まったところで、これから広めていければと思っている。

・保護者に毎月送付されている園だより「つくしんぼ」を構成員に送付することは

→利用者の方の個人情報の取扱いもあり慎重に対応する必要があるが、構成員の方は守秘義務を謳っており、検討してみる。

○つくし園施設訪問後の感想

・入所施設は閉鎖的なイメージがあったが、見学して、イベントも定期的に開催され、外出の機会や園内の畑での手作業の機会も設けられ、良い印象を持った。

→畑については主に職員が世話をしているが、収穫時は利用者さんにお手伝いしてもらっている。さつまいも収穫の際は、焼き芋を作り、利用者に提供している。

・障害の種類により、閉鎖的な空間が必要な方がいる。食事は美味しくいただいた。居室の段差が気になった。利用者さんが明るく毎日を過ごしていると感じた。活動に対して職員も率先してやられていて、活動的な施設と感じた。

→居室の段差について、施設の再整備を検討しており、来週実施する基本設計・実施設計の中で、バリアフリーを検討していく。

・昼の食事を試食し、温かく、美味しい、バランスのとれた食事で良かった。利用者さんは明るくて、自由に活動され、部屋もきれいにされていて良いなと思った。

→食事は温冷庫車で温かいもの、冷たいものをそれぞれの温度で保っている。

・施設内はきれいに掃除されて、清潔を保たれ、利用者が安心して生活できる環境づくりに努めていると感じた。給食も美味しく、心のこもった食事で、栄養バランスや食べやすさを考えながら、食事提供をされ、園生の皆が健康に過ごせていると感じた。つくし園フェスタでは、バンド演奏に合わせて、園生が楽しんでいる状況や職員が園生と一緒になって楽しんでいる姿が素敵でした。夜勤時に職員の待機スペースが狭いのが気になった。

→食事は栄養士が毎食カロリーを計算しているのでバランスのよい食事となっている。
つくし園フェスタでは楽器演奏のボランティアの方やフラダンスのボランティアの方、焼きそばを作っていただくボランティアの方にお世話になっている。職員の待機スペースについては、施設再整備で検討。
つくし園では、周南公立大の実習先にも選ばれ、毎年1人か2人の実習生の受け入れ、また園内行事に高校生ボランティアの受入れも行っている。

○その他

・議事録の確認を佐田国信子様、福原美佐子様に依頼。

11時00分終了

この議事録の正確を期するため署名する。

令和8年11月16日

佐田国 信子 印

福原美佐子 印